

機械器具 (74) 医薬品注入器
一般医療機器 手動式圧注入調節装置 (JMDNコード: 13100001)

インフューサジ 加圧バッグ 栄養剤用

再使用禁止

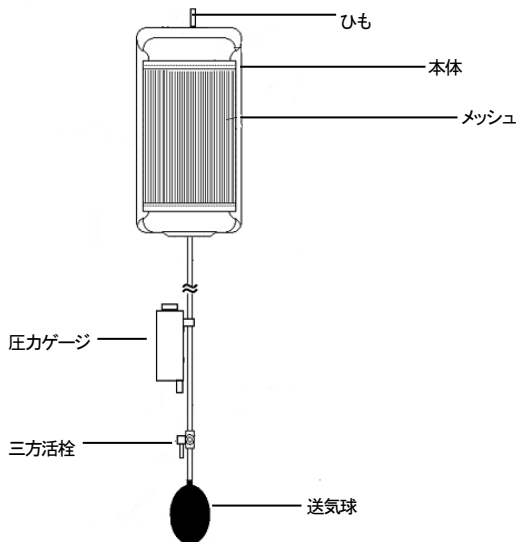
【禁忌・禁止】**

1. 再使用禁止。[本品は使い捨て製品であり、再使用による機能低下のおそれがある。]
2. 送気球以外の方法 (電動ポンプ、院内配管等) で加圧を行わないこと。[急激な加圧により、破袋など故障のおそれがある。]
3. 375mmHg (±10%) を超える加圧を行わないこと。[過剰な圧により、製品機能の低下及び破損のおそれがある。]

【形状・構造及び原理等】

<形状>

本品は未滅菌品です。



<原材料>

本体、メッシュ、ひも: ナイロン
送気球: エチレンプロピレンゴム
圧力ゲージ: ポリプロピレン
三方活栓: ポリカーボネート
チューブ: ポリ塩化ビニル

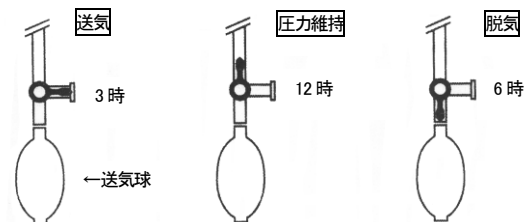
【使用目的又は効果】

本品は、経腸栄養剤投与時に栄養剤を容器から押し出す器具である。

【使用方法等】**

1. 患者を半座位とし、胃瘻カテーテルを開放し胃内のガスを抜く。
2. 栄養剤の容器を経腸栄養注入セットに接続し、チューブ内の空気を抜き栄養剤を満たしてクレンメを閉じ、胃瘻カテーテルと接続する。
3. 本品のメッシュ部分に栄養剤をセットし、三方活栓のつまみを3時の位置に回す。
4. 本品をガートル台にかけるなどして、落下しないような状態に保った後、送気球を繰り返し押し、圧力ゲージの目盛が375mmHg (±10%) になるまで加圧し、経腸栄養注入セットのクレンメを開放する。

6. 三方活栓のつまみを12時の位置に回し、圧力を維持する。
7. 栄養剤が押し出され容器が平らになったら、三方活栓のつまみを6時の位置に回し、脱気した後に栄養剤の容器を取り出す。



<使用方法に関連する使用上の注意>**

- ・本品に損傷又は異常がある場合には使用しないこと。
- ・375mmHg (±10%) の圧力でも栄養剤を押し出せないときは、本品の使用を中止すること。
- ・栄養剤の容器は均一の圧がかかるように、メッシュ部分に装着すること。
- ・栄養剤投与前の胃瘻カテーテル開放時に、先に投与した栄養剤の胃内残留を大量に認めたときは、本品を使用しないこと。[胃内排出機能障害が疑われる。]
- ・使用時には、本品をガートル台にかけるなど落下しないような状態で使用すること。[カテーテルが引っ張られることによる胃瘻への影響や接続部の外れにより栄養剤が漏れるおそれがあるため。]
- ・径の細い胃瘻カテーテル (20Fr未満のもの) や、径の細いボタン式胃瘻の接続チューブには使用しないこと。[栄養剤を押し出す際に過度の抵抗がかかり接続部が外れる可能性がある。]
- ・セットする栄養剤は、粘度及び流出量に注意して使用すること。
- ・栄養剤が投与されるのに伴って圧力が下がってくるので、必要に応じ追加で加圧を行うこと。
- ・複数の栄養剤の容器を同時にに入れて使用しないこと。

【使用上の注意】

<重要な基本的注意>

- ・取り扱いに習熟した者以外は本品を取り扱わないこと。
- ・本品を経腸栄養投与以外の目的で使用しないこと。
- ・併用する医療機器の添付文書及び栄養剤の使用上の注意を確認した上で使用すること。

【保管方法及び有効期間等】

<保管方法>

- ・水濡れに注意し、直射日光及び高温多湿を避けて保管すること。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者: 株式会社名優

住所: 千葉県八千代市ゆりのき台3-9-2

電話番号: 047-480-6161

製造業者: SUNMED AP,LTD. (中国)